

17. キウイフルーツ

・殺菌剤（参考農薬）

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
25	アグレプト水和剤	散布	収穫 90 日前まで	4 回以内	
24+M1	(カスガマイシン・銅) カスミンボルドー	散布	休眠期	4 回以内	
	カッパーシン水和剤	散布	休眠期	4 回以内	

・殺虫剤（参考農薬）

IRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
3	アディオオン乳剤	散布	収穫 7 日前まで	5 回以内	
16	アプロード水和剤	散布	収穫前日まで	2 回以内	
1	スプラサイド水和剤	散布	収穫 60 日前まで	3 回以内	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。

品種や気象条件により収穫時期が異なるので、薬剤の使用時期（収穫前日数）に注意する。
農薬の使用回数は、前年の収穫後から本年の収穫までの期間の使用回数であるので注意する。

病虫害名	防除時期	防除方法	注意事項
かいよう病	休眠期 発芽～梅雨期 落葉期	1. 枝幹の発病部位は、周囲の健全部を含め削り取る。 2. 病葉はできるだけ早めに摘除する。 [参考農薬] 1. 発芽前にカスガマイシン・銅水和剤（カスミンボルドー・カッパーシン）の 500 倍液を散布する。 2. アグレプト水和剤 1,000 倍液を散布する。	1. カスガマイシン・銅水和剤（カスミンボルドー、カッパーシン）は使用時期を厳守する。
カメムシ類	幼果期 ～ 収穫期	[参考農薬] 1. アディオオン乳剤 2,000 倍液を散布する。	1. アディオオンは、蚕毒及び魚毒に特に注意する（特別指導事項参照）。
クワシロカイガラムシ	6 月上中旬 8 月上中旬	[参考農薬] 1. アプロード水和剤 1,000 倍液又はスプラサイド水和剤 1,500 倍液のいずれかを散布する。	1. スプラサイド水和剤の使用時期は収穫 60 日前までなので注意する。

【注意事項】

キウイフルーツの薬害に対する注意

1. アプロードは、施設栽培では薬害を生じるので使用しない。

他作物の薬害に対する注意

2. アプロードは、幼果期以降のかきに薬害を生じることがある。